



木製カードケース D型 ペーパークラフト(縮尺20分の1)

- ・ハサミまたはカッターナイフ、接着材(のり又は木工用ボンド)を用意してください。
- ・外形線に沿って切り離してください。
- ・点線に沿って山折に曲げ、同じアルファベット同士を接着してください。
組付けはアルファベットA,B,C・と順に接着して下さい。

※ハサミ・カッターナイフ等の取扱いには十分にご注意ください。



木製カードケース D型 (1950(昭和25)年頃～)

写真の仕様：木原正三堂製 W.875 × D.475 × H.1222

「D型」という商品名で木原正三堂(弊社前身)のカタログに登場するのは1964(昭和39)年からですが、この型の特徴である積重ねが可能な「積重型カード容器」は、既に1950(昭和25)年のカタログに見られます。主材は、堅牢で木目の美しいナラ材で、脚部、引出部、引棚部、天板のユニットを順次に積重ねることができ、必要に応じて引出し数の調整ができます。引出しは、前板と側板は引く力に強い蟻組み、後板と底板はあられ組みで接合されており、頻繁な使用に耐え得るつくりです。